

心の教室相談事業

学 務 課

1. 目的

生徒が身近な存在を感じ、ストレスを和らげることができる人材（心の教室相談員）を中学校に配置し、生徒の悩み、不安やストレス等の諸問題の解消を図るとともに、問題行動等の未然防止を図る。

2. 内容

- ・笠間市内中学校 7 校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みの相談や生徒指導上の諸問題に対して教職員と連携しサポートする。

3. 実施状況

- ・心の教室相談員の配置（2名で対応）
中学校 1 校あたり *週 1 日 8 時間勤務（稲田中・岩間中）
*週 2 日 各日 4 時間勤務（笠間中・友部中・友部二中）
*隔週 1 日 8 時間勤務（東中・南中）
年間合計 1 6 8 0 時間分配置
- ・年間の相談件数等については別紙

4. 内部評価

- ・各中学校において、生徒が気軽に相談できる体制を作っておくことは必要である。また、個別に指導・援助が必要な生徒に対して、各学校の教職員をサポートしながら指導・援助ができた。
- ・今後は、様々な問題を抱える生徒の対応のためにも、相談員の資質向上が必要であり、資質向上のための研修や教育相談関係の資格や専門員を採用していくことも考えたい。

5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し,継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○現今の社会環境を考えれば当該事業の実施とその継続の必要性高いことは十分理解できる。実施状況を聞くと事業の目的は概ね達成されていると理解でき、今後ともこれがさらに充実されていくことを切望している。そのためには市当局の予算措置についての一層の配慮を願いたい。

○精神的・肉体的にも不安定な時期に当たる中学生を中心に心の安定及び各種兆候への早期対応と問題行動の未然防止を図る事業であり、必要性・有効性は極めて高いと認められる。また、年間500件を超える相談に対し、市内全中学校でバランスよく対応するなど効率性も非常に高いと認められ、現行どおり継続すべきと認められる。

○心に悩みを持つ生徒が気軽に行ける教室としての必要性・有効性は認められると思います。たとえ”つなぎ役”であったとしても、さまざまな悩みに対応する相談員の負担は多大なものであると思われます。年間840時間が少しでも軽減されるような増員があっても良いのではないのでしょうか。

6. 外部評価に対する改善等の取り組み

相談件数の増加、相談内容の複雑化に伴い、相談員の専門性が更に求められる現状です。そのため相談員が研修会等へ参加できる勤務体制を整えるとともに、各種相談機関、関係機関及び学校との連絡体制を整え、今後とも継続実施することにより、様々な悩みや相談に対応していきます。

心の教室相談員「教育相談状況」

《相談件数》 ※延べ人数

平成23年3月24日現在

		1年		2年		3年		生徒計	保護者	教員
		男	女	男	女	男	女			
学校の人間関係	友人関係	2	7	6	43	1	14	73	1	0
	異性	0	0	0	5	0	2	7	0	0
	先輩	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	教師	0	1	1	1	0	2	5	0	0
	相談室での生徒の指導	2	2	6	38	28	26	102	0	8
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校生活	不適応	2	4	5	24	5	41	81	2	4
	学習環境, 教室環境	1	0	0	5	6	7	19	0	0
		0	0	0	0	0	7	7	0	0
家庭	親子の関係	0	0	0	2	7	4	13	1	0
	家庭内不和	0	13	0	2	0	5	20	0	0
	兄弟姉妹	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	家庭環境	2	1	3	2	0	1	9	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
自分自身のこと	性格	0	0	0	1	0	4	5	0	0
	友達の自分への評価	0	0	1	0	0	1	2	0	0
	からだの成長に関すること	0	0	0	3	1	1	5	0	0
	性に関すること	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	学業に関すること	0	5	2	1	19	31	58	0	0
	健康に関すること	0	3	3	1	0	0	7	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校以外の人間関係	他の中学校の生徒	0	2	0	0	0	4	6	0	0
	卒業生	0	0	0	1	0	0	1	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	生徒との個別面談(継続で実施)	7	13	17	10	10	16	73	0	0
	部活動に関すること	0	3	1	1	0	0	5	0	0
	進路に関すること	1	0	0	0	0	19	20	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	55	45	140	77	188	522	4	12	